

えがお

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 <mailto:info@kama.syakyo.com>

<https://www.facebook.com/kama.swc>



新しい年の始まり

今年もみんなで

楽しい一年に



熊ヶ畑小学校

笑顔届けたい～エイト会の初舞台～

地域のホットニュース



11月23日（日）、稲築地区にあるグループホーム彩で誕生日会が開催され、稲築地区の民生委員児童委員の有志で結成されたエイト会が歌や踊りを披露しました。

同会は、まだできたばかりで、この日が初めての舞台でした。メンバーの皆さんはこれまで練習を重ねて来られたそうですが、本番前には少し緊張した面持ちでした。

しかし、いざ始まると、歌や踊りを楽しんで見ている様子が見ている人たちにも伝わってきて、会場は最後まで笑い声に包まれていました。

司会を担当された平井由子よしこさんは、「これからもっと練習してレベルを上げて、いろんな場面で活動していきたいですね」と会の目標を語られていました。

支えあう地域を目指して

平成26年度第2期市民後見人養成講座



山崎教授から、地域福祉と権利擁護は切り離せない関係であることを学びました。

11月25日（火）から第2期市民後見人養成講座が始まりました。

市民後見人は、判断能力が十分でない方の生活を支え、同じ地域で暮らす住民として身近な立場で後見活動を行い、寄り添う支援をすることに期待が寄せられています。この活動にもっと多くの方と取り組んでいくため、昨年度に引き続き開催しており、今回は18名の方が受講しています。

開講式では、嘉麻市保健福祉部高齢者介護課長の池田巖さんから挨拶があり、本会の木山事務局長がオリエンテーションを行いました。



した。その後の講座では、筑紫女学園大学人間科学部教授の山崎安則さんから『地域福祉と権利擁護』について、成年後見センター・リーガルサポート福岡支部司法書士の加藤文雄さんから、『成年後見制度の基礎』についてを学びました。後見活動の基盤となる考え方や大切な視点といった内容で、みなさんは熱心にメモを取りながら聞き入っていました。これから約3カ月間、28コマの講座でみなさんと一緒に学習し、地域における支え合いの輪を広げていきたいと思えます。

成年後見制度

Q. 成年後見制度は、難しくよくわかりません。基本的な考え方は、どのようなものですか？

A. 人は、社会生活をしていく上で、たくさん契約をします。例えば、買い物をするときの売買契約、銀行に預金をするときの契約、介護サービスの契約などです。このような契約をするときに、判断能力が十分な方が、不利な契約を結んでしまわないように、その人に合った安全な契約ができるように、お手伝いすることが成年後見制度の基本的な考え方です。

安心をお届けします

空き家管理 住まいるサービス

本会では、市内の空き家を管理し、所有者に安心をお届けするとともに、地域の防犯や環境保全につなげていく、空き家管理住まいるサービスを実施しています。

最近このサービスを利用しはじめたAさんの家屋を訪問していると、ご近所の方が「郵便ポストがいっぱいになっていて、火をつけられたりしないか心配していたけれど良かった。」と話しかけていただきました。

近隣の方の安心した生活にもつながりますので、空き家の管理についてお困りの方は、ぜひご利用ください。

(対象家屋)

・市内にある家屋で、本人、配偶者、子、または本人の父母いずれかが所有者となっていること。

(利用できる方)

下記のいずれかの理由によって、現在家屋の管理ができない方
・市外、県外在住 ・長期出張、転勤 ・入院、施設入所
※利用条件として、本会の会員(年額 1,000 円)に加入をお願いします。

(サービス内容と利用料金)

- ・基本サービス(月 1 回)3,000 円 / 月
通風、通水、内部・外部のチェック、郵便物の整理・転送。
実施後には写真付きの報告書を郵送しています。
 - ・オプションサービス(希望に応じて実施します)
庭の草刈り、剪定など。
- (料金は内容により異なりますので、事前に見積もりを行います。)

※台風や大雨などの有事の前後には巡回して状況を確認し、異状があれば連絡致します。
なお、本会のホームページにも詳しい内容を掲載していますので、ぜひご覧ください。

電話でもお気軽にお問い合わせください。

<http://kama.syakyo.com/akiyakanri.htm>

嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧ください。 嘉麻市社協のブログ <http://kamasyakyo.chobi.net/wordpress/>

2014年11月29日

今日は、小竹町中央公民館で開催された公開講演会に行ってきました。まず「速報 辺野古のたたかひ」/2014年8月というDVDで、沖縄県名護市辺野古の海に基地が作られることに反対する市民の方の運動が上映されました。「たかさんの海の命を何で奪われたいといかないのか」と強い気持ちで訴え続けられていて、絶対に負けられない戦いだと感じました。その後、アーサー・ビナードさんの「ぼくららの日本語は生きのこれるのか」と題した講演があ



その後は、グループワークがあり、公益社団法人成年後見センターリーガルサポート熊本支部が進行役をされ、裁判所との連携はどうか、困難事例にはどう対応しているのか等につき、意見交換を行いました。後見人の心構えとして、本人の生活全体に関わっていること、本人の最善の利益の為であることとを共有し、とても勉強になりました。



2014年11月14日

今日は、山鹿市社協主催の平成26年度市民後見推進研修会に参加しました。まず、基調講演があり、熊本家庭裁判所山鹿支部 主任書記官の美並朗さんから、成年後見制度の後見事務や市民後見人の活用が期待される事案などについて、わかりやすく説明がありました。

2014年11月30日

嘉穂特別支援学校の生徒たちが作った作品がイオン総波店で展示されていました。子どもたちが一生懸命作った作品は、どれも力作でした。小学部の作品の中に、オルゴールを入れた箱があり、曲は子どもたちが選んだと書いてありました。「どんな曲を選んでいるのかな」と思いながら一つ一つ聴きました。あるひとつのオルゴールを聴き、胸が熱くなりました。その子の選んだ曲は、お母さんが好きな歌手の曲だったからです。「お母さんが好きな曲を選んだのかな。それとも、お母さんが聴いているから好きなのかな。」そんなことを思っていたら、涙があふれてきました。その作品から、いろんな気持ち垣間見えた気がしたのであります。心が温かくなりました。



りました。辺野古の海のことから広島、長崎のこと、日本の戦争のこと等、たかさんのことを考えさせられました。また、それらのことを語る私たちは、立ち位置をしっかりと認識して日本語の言葉を使わなければならないことを学びました。忘れてはいけない戦争のこと等は、その体験を自分の問題として受け止めなければ、正しい歴史は語り継がれないということをアーサーさんから教えていただきました。本当に勉強になり、もっと知り、考えなければならぬと感じました。

寄稿 生まれてきてくれてアリガトウ

今号から3回シリーズで、NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局 長高石伸人さんに寄稿いただきます。テーマは、「いのちと福祉」です。

「病气や障害はその人に《何か》が欠けていることを示すのではなく、その人に《何か》をもたらししている。」(最首悟)

一九八九年の春まだ浅い三月三日、わが家の第三子として「衆」(ひろ)がやってきました。と言っても別にコウノトリが運んできたわけではないのですが、ボクの実感に添って表現すれば、まさに天啓(てんけい)のように訪れてきた、ということになりました。昨年(こ)の欄に寄稿された鶴島夕子さんの文脈(なま)に倣(なら)えば、よくぞボクら夫婦(わが家の実体)を選んで産まれてきてくれたということになります。

ただ、残念ながらシャバの現実では、この子(ら)の誕生はかならずしも祝福に満ちた瞬間にはなっていない。それどころかこの子(ら)が生まれると分かった時点から、多くは「否定される生命」として分けられ、誕生の日を迎えることなく、死の淵に追いやられてしまうのです。なぜなら、「この子(ら)に「障害がある」からです。

つまり、ボクらの社会の常識によれば、「障害はマイナス」であり、「障

害者は不幸な存在」ということになってしまい、だから親は産まれてくる「その子(のため)を思い、世間の眼差しの冷たさを理由にして、涙をのんで産まない決断をするのです。でも、ちょっと待ってください。もしその前提である「障害=マイナス」の価値観が、一面的で差別的な見方だとしたら、奪われた「いのち」への申し開きができるでしょうか。

もちろん、ボクは産まない決断をした人(たち)を責めているわけではありません。衆を授かったボクだって紙一重だからです。確かに物豊かではあるが平等とは言えない、この日本という国で障害をもつ人(たち)が生きていくのは大変だと感じています。とくに昨今の「弱者いじめ」の政治のあり方(には強い憤りさえ覚えます。でも、それは口実にすぎません。

言うまでもなく、「社会的弱者」は障害をもつ人(たち)だけではありません。子どもや高齢者の中にも日々の暮らしに困難を抱える方(々)が少なくありませんし、沖縄や福島や全国(の原発立地ムラ)でも、生命を擦り減らすように暮らしている人(々)がおられるに違いないのです。授かった生命を縁として、親に選んでくれた子(と)手を携え(たずね)、すべての生命の平等の実現に向け、ゆっくり、オロオ

ロと、できることをやっていると選ぶものではないでしょうか。

冒頭の最首悟さんの言葉は、衆をこのシャバに迎えたボクにとって、とても大きな支えになりました。いま、小竹町の「隅で「虫の家」という名の、障害をもつ人(たち)の地域活動の場を営んでいます。そこに集う彼、彼女(たち)に、どのように接し、振る舞うかという問いにもヒントをくれます。この人(たち)の、人を喜ばせようとする並はずれて不器用な愛(気遣い)、それもボクのような下心がないのですから。そして、何より「分からないことの豊かさ」とでも表現したらよいのか、とくに言葉での「コミュニケーション」が苦手な衆(たち)から発せられる「人間はそう簡単に分からないのだよ」というメッセージは、立ち止まること、耳を澄ますこと、思考することの大切さを教えてくれます。

数日前のわが家の夕食時。肺炎で入院していた四歳の孫が少し食欲が出て、「ご飯を口に運んでいると、珍しく衆(が)ゆかちゃん、おんぶ(と)声をかけました。通訳すると「がんばって食べようね。後でお兄ちゃん(が)抱っこしてあげるからね」となります。「後でね」と孫(が)応えます。衆の「おんぶ」は「抱っこ」です。しば

らくして、衆がニコニコ笑いながら虚空を見つめて、しきりに頷いていきます。「何が嬉しいと？」とボクが尋ねても「・・・」。そのひと時、彼の内側から立ち上る温かな空気がわが家の食卓を包んで、みんなが幸せな気分(に)浸っているのです。



高石伸人さん
プロフィール

NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長。九州龍谷短期大学及び筑紫女学院大学非常勤講師。1949年生まれ。大学卒業後、(社福)直方市社会福祉協議会ソーシャルワーカーを経て、1997年から2008年3月まで九州龍谷短期大学教授。かたわら1986年から自宅敷地内で、障害者地域活動センター「虫の家」を共同運営。その一角に2008年から「杉野ハインセン病資料室」を開設した。著書に、『水保50年―ひろがる「水保」への思い』(作品社、共著)、『新優生学』時代の生老病死(現代書館、共著)など、論文に「証言…へらい予防法」を生きて「閉塞する死」『商品化社会』の精神に関する「考察」他がある。福岡県小竹町在住。

公開講演会のご案内

この度、飯塚市・嘉麻市・桂川町社会福祉協議会の主催による公開講演会を開催することとなりました。

血縁、地縁、社縁という、これまで困った時のセーフティネットの役割を担っていた「縁」(つながり)が希薄化する中で、社会的に孤立したり経済的に困窮する方々が増えてきています。今日の社会にはホームレスになったり生活困窮から抜け出せないのは「自己責任」だという考えがありますが、社会や周囲の人間の責任は本当にはないのでしょうか。

講師の奥田知志さんは、「ハウスレス」(宿なし・経済的困窮状態)と「ホームレス」(家族、地域、組織など)はつながっていて、ハウスレス状態の解消だけでは問題の解決にならず、同時に「ホームレス」状態を解消するための支援が必要だと言われます。

これからは、福祉従事者だけではなく、多くの地域住民が伴走する支援が求められているため、一人ひとりに何ができるかを一緒に考えていきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

日時 平成27年1月30日(金) 15時～17時(開場 14時15分～)
 場所 桂川町住民センター2階 会議室
 内容 「今、なぜ伴走型支援が必要なのか…」～生活困窮者支援の現場から～
 講師 認定NPO法人抱樸(旧北九州ホームレス支援機構) 理事長 奥田知志氏
 参加対象 関心のある方 参加費 無料
 参加申し込み 1月23日(金)までに右記までお申し込みください

テーマ 「自分らしく生きる」



成年後見制度や、遺言、相続、エンディングノートなどを落語で楽しく学ぶ市民フォーラムを開催します。ぜひご参加ください。

日時：平成27年2月22日(日) 午後1時～

会場：稲築地区公民館

主催：嘉麻市・

嘉麻市社会福祉協議会の共催

内容：創作落語「天国からの手紙」
 行政書士・社会人落語家 生島清身(天神亭きよ美)さん

申し込み・問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議 0948-42-0751

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください!



たてふじ 立藤 カズ子さん



よ 江口 テル代さん

りく 鶴崎 利空くん



ゆうと 勇斗くん

とあ 斗空くん

1年前に弟の斗空が生まれて3人兄弟になりました。みんなで元気に遊んで、毎日が笑顔でいっぱいです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

・地域のことを知るうえで重要としています。

・応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・ふるさとへの手紙何時も(涙)溢れます。ふんわりと和みますね。心の故郷は大きいですね。

研修会「ボクが『障がい』から学んできたこと」は、当初、障がい児日中一時支援事業スタッフの研修として企画していたものでした。

応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、12月26日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先 〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: inquiry@kamasakyo.com

前号のクイズの答え (1)

11月25日から養成講座を開催いたします。その中で学んでいる判断能力が十分でない方の生活を支え、同じ地域の住民として後見活動を行う人を何と呼ぶでしょうか。

(1) 成年後見人 (2) 法人後見人 (3) 市民後見人

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントいたします。

「読めば答えが見つかるかも」
社協だよりクイズ

使用済み切手で国際貢献

公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会は、使用済みの古切手を収集されています。昨年度は全国から11トンほどが寄せられ、換金されて、バングラディッシュやパキスタンへの保健医療従事者の派遣やインドネシア、インド、ウガンダ、タンザニア等の現地保健医療従事者への奨学金支援などに活用されています。

本会では市民の皆さんからお寄せいただいた使用済み古切手を、同会に送付していますが、破れていたり、折れまがったりして、換金できないものも含まれています。

そこで、お寄せいただく際の注意点等をまとめました。ご覧いただき、ぜひ収集ボランティア活動にご参加ください。

【使用済み切手の切り方】

○切手の周囲を1cmほど余白を残して切り取る。

※封筒やはがきから剥がす必要はありません。消印はできるだけ残してください。

○封筒に貼ってある切手の場合、右写真のように裏側の紙は切り取る。

○日本のものと外国のものは分ける。

※記念切手と通常切手を分けたり、枚数を数えることは必要ありません。



★このような切手は使えません★

- ・破れたもの ・折れたもの ・汚れたもの ・ホッチキスが貫通した跡があるもの
- ・セロハンテープなどが貼られているもの ・まわりのギザギザが欠けたもの

ボランティア募集 イベント情報

駅伝ボランティア

第25回 楽しく走ろう ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻

県内の子どもたちがグループで楽しく走る、ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻が開催されます。

この大会で、テント設営やコース整備を行うボランティアを募集しています。

日時 平成27年2月15日(日)
午前8時半～午後3時

集合場所 山田生涯学習館
(嘉麻市上山田 1347-10)

内容 テントの運営・設置、コース運営など

募集人数 10名程度

募集締切 平成27年1月31日(土)

ふくおか“きずな”フェスティバル

ボランティアの交流や子育て支援の輪を広げる「ふくおか“きずな”フェスティバル」が開催されます。入場は無料ですので、ぜひご参加ください。

日時 平成27年2月15日(日) 午前9時40分～午後3時30分

場所 クローバープラザ(春日市原町 3-1-7)

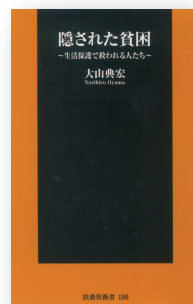
内容 ①講演「新しいふれあい社会の創造～ボランティアのこれから～」講師 堀田 力氏(さわやか福祉財団会長・弁護士)
②ボランティア活動別分科会 ③親子で楽しめるイベント
④高齢者疑似体験 ⑤障害児自立支援施設授産品フェア・食バザー ⑥スタンプラリー 等

備考 上記の①、②については、1月15日(木)までに申し込みが必要ですので、直接下記事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 公益財団法人福岡県地域福祉財団振興課
☎092-582-2396

今月の一冊

隠された貧困 ～生活保護で救われる人たち～



編著 / 大山典宏
出版社 / 扶桑社新書

著者は、ケースワーカーなど社会福祉の専門職として、生活保護に携わってきた経験を基に、複数の本を執筆されています。

近年、メディアで生活保護について取り上げられる機会は増えてきています。しかし、そこに登場するのは、多くの人が共感する、わかりやすい困窮者であって、都合の悪いもの、簡単に説明がつかないものを切り落としていくのではないかと著者は訴えます。

この本は実態をより多くの人たちに理解してもらう必要があるとの思いで経済的に苦しい状態にありながら、声を出せない人たちにスポットを当て、その実態をつまびらかにしています。

経済的な困窮から家族のために万引

きを繰り返し、刑務所出所後、家族からの信頼も帰る家も失った高齢女性、転校後のいじめをきっかけに非行にはしり、薬物に手を出し、家族も友人も失った男性などです。

その方たちに共通しているのは、経済的に困窮しているだけでなく、様々な社会問題を背景として、家族や友人、そして社会などとの関係が切れてしまっていたということ。さらにその困難な状況を脱していくうえで、その人を受け止め、認めてくれる人や機関の存在が大ききな力となっていることが見えてきました。

また、著者は、社会の中で何か問題が発生した時に、最初に矛先が向かうのは貧困に苦しむ人たちだと言います。その人の課題解決に向けた支援を行っていくと同時に、その背景にある社会問題に目を向けなければならぬと指摘しています。

この本を読んでいく中で、様々な課題を抱えた方を支援していくうえでの基本的な姿勢や個別的な支援と同時に、社会へのアプローチの必要性など、たくさんの方に気づかされました。

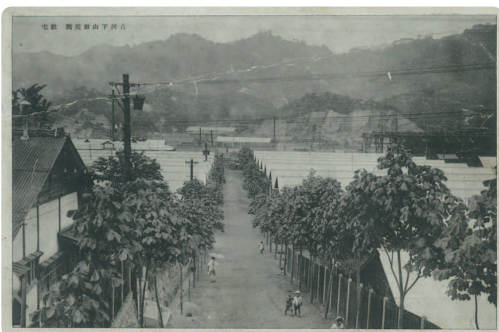
(たけがわ)

No. 94

炭鉱の記憶

古河鉱業下山田炭鉱は、明治28年から昭和45年までの75年間操業していました。左の写真は、その古河炭鉱の昭和15年ごろの社宅(餅田地区)を写したものです。そこには、園児たちが近くの保育園から帰ってくる姿が写っています。

今回は、この写真の提供者であり、その園児の一人だった岸本敏光さん(中山田下在住)に、話を伺いました。この社宅には、200世帯以上が住んでいて、写真の奥にかすかに見えている2階建ての下山田小学校には、およそ1,500人が通っていたそうです。



昭和15年頃の餅田地区の様子

この写真の手前には、映画館だけでなく、プールもあったそうで「そのおかげで、古河には泳ぎがうまい人が多いって言われよったんよ」と話します。

また、雪が積もると、写真中央の坂道は子どもたち専用のゲレンデとなり、たくさんの子もたちが勢いよく滑って遊んでいたそうです。岸本さんは、「昔は今よりも雪が積もる回数が多かったもんね。今みたいに車が通ることもないから、安心して遊びよったよ」と当時の様子を思い出しながら、懐かしそうに語ります。

この周辺に住む人たちは大きく減少しましたが、今もなお、この坂道の周辺では遊びまわる子どもたちの元気な声や聞こえてきま



現在の様子

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。TEL 0948 (42) 0751

紙おむつをご利用ください

本会では、大人用紙おむつの配達・販売をしています。ご注文いただいた商品は、1パックでもご自宅へお届けいたしますので、お気軽にご連絡ください。

★売れ筋商品★ ※初めての方には、試供品を用意しておりますので、まずはお試しください。

☆リリーフパワフルパンツ
¥1,810～1,920

パンツタイプの紙おむつです。
動きやすくサイズも豊富です！
(S～LL) 吸収量(おしっこ3回分)



☆デオドラントライナー中量 ¥350

軽い尿モレ用パッドです。
スピード吸収でいつもサラサラ、瞬間消臭で臭いが気にならず安心です。 吸収量(60cc)



☆紙パンツ専用安心フィット ¥940

紙パンツと一緒に使う、尿とりパッドです。前後のテープでそのまま貼れるので取り換え簡単。こまめに交換できて経済的です。
吸収量(おしっこ3回分)



嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751

山田ふれあいハウスのご案内

山田ふれあいハウスでは、平成26年4月に子育てリユースセンターを開設し、家庭で不用になった子ども服やランドセル、中学・高校の制服など様々なものが揃っています。利用される方からは、「土日でも利用できるようになって便利になった」との声が寄せられています。リユースセンターの利用は無料ですので、ぜひご利用ください。



冬物もたくさんあります。

また、館内には、最大30名ほどが利用できる会議室がありますので、団体やサークルの活動の際にご活用ください。会議室の利用はあらかじめ申請が必要ですので、下記までお問い合わせください。



会議やサークル活動にご活用ください。

会議室使用料…1時間当たり250円 冷暖房使用料…1時間当たり450円

お問い合わせ先 山田ふれあいハウス 0948-52-1847

飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生 298-1
☎(0120)42-2241

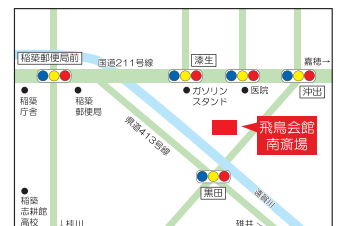
指定葬祭場紹介

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のうち、8割の方が事前相談に来館されています。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお尋ねください。

家族葬にあわせたプランもご用意し、スタッフが心を込めてお手伝いいたします。

また、当会館のお斎等は、パドドゥ・ル・コトブキの本格料理をご用意しております。

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に8カ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場・・・☎62-4499
いすや会館・・・☎57-4444
かほ葬祭 あじさい会館・・・☎62-5566
おかむら葬祭 岡村会館・・・☎42-4420

ひさつね会館・・・☎52-0758
セレモニーホールおおつか・・・☎52-1212
善光会館 稲築会場・・・☎83-5000

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

11月1日～11月30日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 秋吉 文夫 様
故 秋吉 フミエ 様

【漆生南部】

親族 三好 ハツエ 様
故 三好 繁夫 様

【東岩崎】

親族 井上 義三 様
故 井上 進 様

【山野第一】

親族 野見山 篤 様
故 野見山 ツタエ 様

【鴨生第二】

親族 徳丸 隆之 様
故 徳丸 泰子 様

【漆生東】

親族 菅野 澄子 様
故 菅野 征二郎 様

【枝坂】

親族 跡部 静代 様
故 跡部 治 様

【上臼井上】

親族 中村 千賀子 様
故 中村 信夫 様

【神幸】

親族 川尻 一暢 様
故 北島 康行 様

【本町】

親族 新水 富恵 様
故 田中 イサ子 様

【木城】

親族 石田 シゲコ 様
故 石田 チハル 様

【さくらが丘】

親族 伊藤 なみ子 様
故 伊藤 忠生 様

【古河】

親族 高橋 義美 様
故 千代田 力 様

【上町】

親族 大村 吟子 様
故 大村 専一郎 様

【下牛隈】

親族 大塚 ゆかり 様
故 大塚 香代子 様

【千手】

親族 山本 隆則 様
故 山本 マツエ 様

【泉河内】

親族 廣田 アツ子 様
故 廣田 幸雄 様

【東畑】

親族 伊藤 武宣 様
故 伊藤 カスミ 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

山野第一 田中 健次 様
山野第一 鬼塚かよ子 様
下臼井東 田中 雅子 様
三日町 石井美由紀 様
上牛隈 安河内 隆 様
飯塚市 笛田 和美 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿 名 様
漆生南部 岩田 勇治 様
漆生南部 市原登志彦 様
漆生南部 西岡 聖 様
鴨生第一 西田 幸子 様
漆生東 花村 誠市 様
枝坂 匿 名 様
久家奈緒美 様
矢野さき子 様
鴨生北町 松田 敏雄 様
六四田 橋本 利根 様
百々谷 明石 睦則 様
中央 大野スマ子 様
芥田 上野 武 様
桑野 石ヶ崎シニアクラブ 様

【リングフル】

鴨生北町 山崎 恵子 様
六四田 松田 敏雄 様
琴平団地 匿 名 様
尾浦第一 大津 弘子 様
尾浦第一 友添 正利 様
下宮 三好 邦央 様
中央 明石 睦則 様
蛭子 藤井 春男 様
ゆうひが丘 斎藤 秀子 様
石ヶ崎 國武美千代 様
石ヶ崎 渡邊 翔輝 様
古河 藤田 信彦 様
古河 甲斐 良子 様
中益 野見山佳乃 様
芥田 大野スマ子 様
長円寺仏教婦人会 様

【古切手】

鴨生第一 伊藤喜代益 様
鴨生北町 山崎 恵子 様
辻中籠 匿 名 様
嘉麻市人権・同和対策課 様
教育ナビゲーション(株) 様
嘉麻市健康課母子保健係 様

【アルミ】

古河 塚原 京子 様

あなたの会費が、社協の地域
活動を支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

11月1日～11月30日受付分

〈漆生中央〉中央四組(七口)

〈東岩崎〉杉本由里佳

〈熊ヶ畑第二〉大庭彰子、米満正雄、
大田桂子、道手フジ子、渡部豊子、
大田守、筒丸千月、室井照美、本川
泰子、広瀬澄夫、大里悠治

〈三菱第一〉藤原民野

〈下宮〉坂本智恵子、内橋正、井上学、
平野千恵子、林田一輝、椿甫、石松
初美、仲道正行、小野京子、今村き
よ子、松岡伸彦、佐野敦、有吉国土、
松岡ミツ、大里一男、井上正一、矢
野栄一、都築光一、加来京子、大塚
秀樹、本岡サナエ、大上啓子、古賀
聖一、重松嘉隆、重松鈴子、山藤や
す子、廣谷マリ子、篠原孝一、森茂、
仲道庸正

〈木城〉中嶋栄治

〈中央〉藤野文枝

〈中山下〉吉永雪男

〈日吉〉木村豊次、角本房恵、森本月
夫、松向カツ子、松岡フジエ、藤田
真吾、久恒清、田中和昭、河村一、飯
田恒喜、浅野英子、青木正親、青木
トシ子、定政一、浦田守、松向秀昭

〈下牛隈〉大塚香代子

〈宮吉〉徳丸智加

2月総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

法律相談

と き: 2月5日(木)
13:00~16:00
ところ: 山田ふれあいハウス

と き: 2月19日(木)
13:00~16:00
ところ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 2月18日(水)
13:00~15:00
ところ: 稲築住民センター

と き: 2月25日(水)
13:00~15:00
ところ: 稲築住民センター

ふるさとへの手紙

No.107

ふるさとへ

思いをこめてペンをとる



大阪府
枚方市在住
猪上 トクさん
蛭子出身

嘉麻市（山田）に生まれて山田の学校を卒業、職場の友とワイワイガヤガヤとおしゃべりしたり食事をしたり映画を観たり、楽しい青春時代を過ごしました。22歳で結婚を機に山田を離れて早44年になりました。今は大阪府枚方市に住んでいます。山田にいた時間の倍以上の大阪生活になりました。1、2年に一度位帰る山田…少しずつ変わっていく山田…ボタ山には草木が生えてボタ山のイメージがなくなっている。淋しいな。幼いころボタ拾いやつくしんぼーを採りに行ったことが懐かしく思い出されます。

先日、NHKテレビで飯塚オートレーヌ場が放送されました。飯塚の街や遠賀川が写っています。

見入ってしまった。オートレーヌ場は、昔主人や弟達が行ったことを思い出しました。あの時は、勝ったやら負けたやら…今度帰ったら私も行ってみようかな。

7年前に母を亡くして、山田に帰るのも以前より少なくなりました。もうすぐお正月。母がいてるときは、お正月食品一式を送ってもらったのが昨日のようです。特に、佐賀レンコンが大好きで、「やっぱり佐賀レンコンはおいしいわー」と言うといつも主人が「おまえは九州のもんやったら何でもおいしんやろー」と笑われたものです。遠くに住んでいると九州と聞くだけで懐かしさを感じます。ましてや、山田と聞くと…そんな私を主人は温かく見守ってくれました。その主人も9年前亡くなり、子ども2人と孫3人（男ばかり）に囲まれて楽しく過ごしています。

仕事もバイトながら現役で働いています。もう少し頑張ろう。

嘉麻市の発展を遠くから祈っています。

★ 編集後記 ★



寄稿いただいた高石さんから「語感の好みでお選びください」といわれ、タイトルを2ついただきました。『分からないことの豊かさ』と『生まれてきてくれてアリガトウ』でした。どちらも素敵なタイトルだったので、すごく悩んだ末に決めました。ぜひ読んでください。（きはら）



熊ヶ畑小学校での地域の方との門松、しめ縄作りは、もうずっと長く続いている行事だと伺いました。地域の方から子ども達に受け継がれる手作りのお正月の準備はとっても素敵で、大切な日本の伝統だと感じました。（みぞくち）



炭鉱の記憶で、現在の様子の写真を撮りに行きました。周辺を歩いていると、小学生の頃、友人と自転車でその坂道を昇り降りして遊んだことを思い出しました。とても懐かしい気持ちを感じながら、シャッターを切りました。（たけがわ）



社協だよりクイズの答えと一っしょに、広報紙の感想を書いていただきました。あたたかいお言葉に、とても励まされました。ありがとうございます。（ながの）



今月のえがおの取材でたくさんの方に声をかけさせていただきましたが、応じてもらえず、帰社前のラストチャンスでステキな笑顔に出会えました。ありがとうございました（*^_*）（かじ）



空き家管理で現地に行くと、近所の方々が心配そうに見にこられます。そして、説明をすると安心されます。多くの方にこの事業のことを知ってもらえたらと思っています。（ふかがわ）

コラム交差点

会社を定年になり先祖の墳墓の地「嘉穂」に帰省し十数年が過ぎました。アツと言う間の歳月です。人生もそんなものだろうと思う昨今です。田舎の自然と細流（せせらぎ）の音に引かれての現在地暮らしです。

昔に比べて人口は激減過疎化が進み、鹿や猪がたむろし山間部の田畑の荒廃が進み、大変気になる処であります。

田舎に帰省して一番戸惑うのは従来会社勤めの

縦社会の習慣から急速、横社会への変化です。横社会の本質は長幼の序と過去の慣習で、その事が何よりも優先されます。

いい悪いは別にしてそんな田舎に慣れて参りました。細流の音に包まれて本を読む、現在のベストセラー作家北九州出身の佐伯泰英に填まっております。

晋作と野村望東尼の合作と言われる言葉で望東尼が臨終近い高杉を下関に見舞った時の歌です。

高杉「おもしろき、事もなき世を、おもしろく」望東尼「すみなすものは、心なりけり」です。

今迄いろんな難しい局面でこの歌に救われました。

心の持ち方、プラス発想を教えてください。

細流の音、そしてこの歌は、田舎生活をするうえで私の心の支えでもありません。合掌

（大力 中村紀久）